





重点分野2 (中目標)	気候変動・環境												
開発課題2-1 (小目標) 気候変動・防災	【現状と課題】 フィジーはサイクロンや洪水、旱魃といった自然災害に例年見舞われており、また今後気候変動の影響により災害の極大化等も懸念される。フィジーは2017年に開催されたCOP23で議長国を務め、また世界に先駆けてパリ協定を批准するなど気候変動対策に強いコミットメントを示している。緩和策に関して、特にフィジーは2030年に再生可能エネルギー導入100%をめざしているものの、既存の水力発電に加え今後太陽光発電等の再生可能エネルギー導入に伴う電力系統の効率的・安定的なオペレーションに課題を抱えている。加えて、離島部における電力供給の再生可能エネルギー活用の促進も課題である。また適応策として、気候変動の影響に対する脆弱性が高い状況に対し、「仙台防災枠組2015-2030」に基づき、防災の主流化、事前の防災投資、復興過程における「より良い復興」等の推進による防災体制の強化が喫緊の課題となっている。					【開発課題への対応方針】 適応・緩和両面から、フィジーのSDG13の達成、パリ協定の実施に対し貢献する。緩和策として、ハイブリッドアイランド構想の推進を軸に低炭素社会に向けた協力を行い、電力系統の安定及び電源の効率運用を確保しつつ、再生可能エネルギーの最適な導入を図る電源ミックスの検討を行う。また、適応策としては「仙台防災枠組2015-2030」に基づき、自然災害に対する防災政策立案から実施能力向上にわたり、ハード・ソフトの両面から防災の能力強化を支援する。							
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考	
					2018 年度 以前	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度			
		緩和策として、広域協力によるハイブリッドアイランド構想の導入を進め低炭素社会の実現に貢献する。適応策としては、仙台防災枠組みにおける防災主流化の推進を推進する。また防災政策の策定に加え、その実施をあらゆる協力を通じ支援する。特にフィジー政府内で優先順位の高い洪水対策支援や、フィジーのみならず周辺国における防災能力強化としてフィジー気象局を中心とした各国気象局における能力向上に対し支援を実施するとともに、関連防災政策の立案と具体的実施体制の構築にかかる支援を行う。	太平洋地域ハイブリッド発電システム導入プロジェクト	技プロ							7.32	広域協力(フィジー拠点)(他プログラムにも記載)	
			防災の主流化プロジェクト	技プロ		-----							
			大洋州気象人材育成能力強化プロジェクト	技プロ	---								広域協力(フィジー拠点)
			ナンディ川洪水対策策定プロジェクト	開調	---							3.80	
			大洋州広域総合防災アドバイザー	個別専門家	---								広域協力(フィジー拠点)
			大洋州広域総合防災アドバイザー	個別専門家		-----							広域協力(フィジー拠点)
			気候変動分野のボランティア派遣	JOCV/SV									
	気候変動分野の研修		課題別研修他										
	太平洋島嶼国リーダー教育支援プログラム(Pacific-LEADS)		国別研修									他協力プログラムにも記載	
	SDGsグローバルリーダー・コース(Pacific-LEADS)		国別研修		-----							他協力プログラムにも記載	
	経済社会開発計画	無償								3.00	サイクロン復興関連資機材		
	経済社会開発計画	無償								1.00	サイクロン復興関連資機材		
	津波データ・エコシステム及び情報レポジトリ整備プロジェクト	マルチ								0.625 million USD	日・UNDPパートナーシップ基金		
	アジア太平洋地域における学校津波防災強化プロジェクト	マルチ								0.960 million USD	日・UNDPパートナーシップ基金		



重点分野3 (中目標)	社会サービスの質の向上											
開発課題3-1 (小目標) 教育機能の強化・ 人材育成	【現状と課題】 フィジーでは、初等・中等教育の就学率が高い一方で、教員の能力向上やカリキュラムの改善といった教育の質の点では課題が残り、政府の重点課題の一つとされている。特に、2011年から正規科目として導入された情操教育（体育、音楽、図工）については、必須科目であるにも関わらず、指導法を十分に理解していない教員が多く、普及と定着が課題となっている。また、理数科目についても生徒の基礎学力が十分な状況にはなく、指導法の改善が必要な状況にある。その他、学校教育を行う上で障害者等の社会的弱者に対するサポートが十分ではなく改善が求められているほか、政府の施策として、産業発展に対する人材の育成に向けて職業訓練が重視されている。高等教育では、同国には大洋州の12か国・地域が共同で設立した南太平洋大学の本部が位置しており、南太平洋における高等教育の中心的な役割を果たしている。					【開発課題への対応方針】 成長と繁栄の基盤である人材育成強化による社会経済発展を支援する。特に、教育の質向上に向けて、情操教育や理数科目のカリキュラム・指導法の改善、障害者や女性といった社会的弱者に配慮した教育サービスの提供、また、スポーツや職業訓練を通じた人材育成に係る協力を行う。また、南太平洋大学を通じた協力の検討も行う。その他、研修事業を通じて社会のリーダーとなる人材や、同国の開発課題の解決に貢献する人材の育成を行う。						
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
人材育成・教育の 質の向上プログラ ム		ボランティア派遣を通じ、情操教育及び理数科教育のカリキュラムや指導法の改善、社会的弱者に配慮した学習環境の提供や職業訓練、スポーツ分野での協力を行う。また、各種研修事業を通じ、社会のリーダーとなる人材の育成や政府関係機関の能力強化を支援するほか、地域の教育機関として南太平洋大学を通じた協力の検討も行う。さらに、草の根無償による学校インフラの支援を継続的に行う。	人材育成・教育の質の向上分野のボランティア派遣	JOCV/SV	2018 年度 以前	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度		
		人材育成・教育の質向上分野の研修	課題別研修他									
		太平洋島嶼国リーダー教育支援プログラム(Pacific-LEADS)	国別研修								他協カプログラムにも記載	
		SDGsグローバルリーダーコース(Pacific-LEADS)	国別研修								他協カプログラムにも記載	
		教育分野の無償資金協力	草の根無償							4.22		

開発課題 3-2 (小目標) 保健医療サービスの向上	【現状と課題】		【開発課題への対応方針】									
	<p>フィジーでは、感染症対策や母子保健分野での医療環境の改善が図られた結果、現在、政府はより効率的で質の高い保健医療サービスの提供に向けた取組を進めている。特に、大洋州共通の課題である非感染症疾患（糖尿病や血管疾患等の生活習慣病）に関しては、同国では死因の約8割がこれに起因するものとされており、同国政府も力を入れて取組む重点課題の一つとしている。他方で、同国政府では医療人材が不足している上に、計画の実施能力が必ずしも十分ではなく、また医療サービスの提供や改善についても適切に実施されているとはいえない状況にある。</p>		<p>保健・医療等の社会サービスの更なる向上を支援する。特に深刻な課題である生活習慣病に対しては、政策レベル及び草の根レベルの両面から生活習慣改善に向けた取組を支援する。また、我が国が強みを持つ5S活動の普及を通じて医療機関の運営やサービスの効率化に向けた協力を行なう。加えて、我が国では、1999年から大洋州各国に対して顧みられない熱帯病(NTD)のひとつであるリンパ系フィラリア症に対する協力を行なってきたが、引き続きWHOをはじめとする国際機関とも連携し、同国のフィラリア症制圧に向けた協力を継続する。</p>									
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
				2018 年度 以前	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度			
開発課題 3-2 (小目標) 保健医療サービスの向上	保健医療プログラム	生活習慣病をはじめとする非感染疾患対策に対しては、技術協力プロジェクト及び栄養士や理学療法士のボランティア派遣を通じて、政府の計画・実施能力向上に取組む。また、医療機関における5S活動推進を目指した技術協力プロジェクトを新たに実施するとともに、医薬品管理センターへのボランティア派遣を通じて、効率的かつ質の高い保健・医療サービス提供を支援する。加えて、WHOとも連携してフィラリア症の制圧に向けた技術協力プロジェクトを開始する。必要に応じ草の根無償による保健医療関連インフラの支援を行う。	生活習慣病対策プロジェクト	技プロ								広域協力(フィジー拠点)
		SS-KAIZEN-TQMIによる保健サービスの質の向上プロジェクト	技プロ									
		大洋州広域フィラリア対策プロジェクト	技プロ									広域協力(フィジー拠点)
		保健医療分野のボランティア派遣	JOCV/SV									
		保健医療分野の研修	課題別研修他									
		太平洋島嶼国リーダー教育支援プログラム(Pacific-LEADS)	国別研修									
		SDGsグローバルリーダーコース(Pacific-LEADS)	国別研修									
		保健医療分野の無償資金協力	草の根無償								0.09	
		開発課題 3-3 (小目標) その他	ガバナンス能力向上プログラム	議会及び議会事務局の能力向上を支援する。	太平洋島嶼国議会能力向上計画(UNDP連携)	無償						5.65

【凡例】 「協準」(＝全ての協力準備調査)、「詳細設計」(＝詳細設計)、「技プロ」(＝技術協力プロジェクト)、「開発計画」(＝開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」(＝課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(＝青年海外協力隊)、「SV」(＝シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」(＝科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(＝草の根技術協力)、「〇〇省技協」(＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(＝水産無償資金協力)、「食糧援助」(＝食糧援助)、「一般文化」(＝一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(＝草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(＝緊急無償資金協力)、「日本NGO」(＝日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(＝草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(＝円借款、海外投融資)、「情報収集調査」(＝基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム)、「中小企業支援」(＝中小企業海外展開支援事業「基礎調査」、「案件化調査」及び「普及・実証事業」、並びに中小企業連携促進基礎調査)、実線「——」(＝実施期間)、破線「- - -」(＝実施予定期間)  
※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。